



# ぽっかぽか

7月・8月 りす組



いよいよ梅雨に入りましたが暑い日も多く、子どもたちは汗をいっぱいかいています。水遊びが始まる7月。安全に気をつけながら、水に触れる気持ちよさ、夏ならではの遊びをたっぷり楽しんでいきたいと思います！また熱中症対策として、水分補給もこまめに行っていくようにします。



## 「自分でやってみたい！」

りす組の子どもたちの発達の特徴として、「自分でやりたい！」という自我が目覚めはじめる時期であり、自分でやりたい気持ちが強くなる時期でもあります。子どもの「やりたい気持ち」に寄り添い、「できた！」喜びと一緒に感じながら毎日の生活の中で支援していきたいと考えています。

そのためにクラスで大切にしていること、工夫していることをご紹介します。  
ポイントは、「子どもの主体性」「待つ」「安心・安全の場」です！



### ① やろうとしたとき、できたとき、その過程も！たくさん褒める！

服の着替えや食事、靴を履くときなど、つい大人がやってしまいがちなことってありますよね。「やってあげたくなっちゃう」「大人がやったほうが早いから」なんて気持ちもわかります。心と立ち止まって子どもの顔を見ると「自分で！」「やりたい！」って言っていることに気づくことがあります。そんなときはチャンスです！自分でやりたいという意欲、自分で選択することは「子どもの主体性」にとっても大切なものです。大人はそこを見逃さず、次の意欲へつながるよう少し？たくさん？のお手伝いをします。その子のできること、できないことを見極め、最後は「自分でできた！」と子どもが感じられるようにサポートすること。

園では、以下のような声掛けをしています。参考にしていただけたらと思います(^\_^)そして、ぜひ私たちと一緒にやってみませんか？

<着替え編>

ズボンを履くときに、うまく履けなくて。の場面

ポイント②:本人ができた  
と実感できるよう、こっそり大人は手助けをする。

ズボン引っ張って履けたね！  
すごい！

ポイント③:具体的に子どもの行動を伝え、喜びを分かち合う。



ポイント①:気持ちの共感・代弁をする。  
(→子供が落ち着きます。)

### ②お家で→心と時間に余裕があるときに。

忙しい毎日の中で、子どものペースに合わせて生活していくことは難しいことも多いと思います。園でも戸外へ出かけるとき、食事のときなど、友だちと一緒に活動をするときに、その子その子のペースに合わせる事が難しいことがあります。「自分でやりたい！」「今これをして！」ときに、大人が途中で止めたり、代わりにどんどんやってしまったり、すると子どものモチベーションはダウンしたり、反発したりするもの。そんなときこそ、深呼吸をして、「待つ」ことを意識しています。

ほんの少し、数秒でも大人が「だいじょうぶ！」と子どもの力を信じて「待つ」・・・すると！子どもが動き出します。そこを見逃さず褒めたり、「だいじょうぶ」「〇〇ができてるね」「やったね」と安心できる言葉かけ・雰囲気を作ると、子どもたちは驚くくらい力を見せてくれます！さっとやるのは簡単で、ぐっと待つことは難しいです。子どもの笑顔・成長の喜びを感じられますので、ぜひ「待つ」にチャレンジしてみませんか？

### ② 安心・安全な場が土台になっています！

子どもたちの笑顔、意欲、「やってみたい！」は全て安心できる環境・安全な環境があってこそのものであります。入園当初は不安だった子ども、今では意欲いっぱい！いろいろな姿を見せてくれます。もちろんひよこ組から進級した子どもたちも、「待つ」が出来るようになると子どもは「待ってくれるんだ」と安心できるようにもなります。そして、安心してやりたいと気持ちを出して、のびのびした姿を見せてくれます。これらはりす組が安心・安全な場になっているからと考えています。大人も安心できる環境でないと縮こまったり、「やってもいいのかな？」と不安な気持ちになったりします。子どもたちの意欲・成長にとって安心・安全な場を作るために、子どもを信じて、笑顔と感謝の気持ちを心がけています。

あじさい  
作ったよ

